

仕 様 書

1 品名

高度救急処置シミュレーター 4 体

2 仕様

- (1) 用手気道確保ができること。
- (2) 経口および経鼻エアウェイが使用できること。
- (3) バッグバルブマスクによる換気ができること。
- (4) 器具を用いた気道確保ができること。(ラリングアルチューブ・ラリングアルマスク等)
- (5) 気管チューブを用いた気道確保ができること。
- (6) 除細動が最大 3 6 0 J で行えること。
- (7) 口腔内がシリコンゴム製で喉頭展開訓練が行えること。
- (8) 両腕で静脈路確保訓練・薬剤投与訓練が行えること。
- (9) 心電図波形はコードレスのリモコンで操作できること。
- (10) 総頸動脈にて脈拍が触知できること。
- (11) 胸骨圧迫実施時に胸骨圧迫の波形を心電図に混入できること。
- (12) 胃膨満を再現できること。
- (13) 腋下及び鎖骨直下にてバックバルブマスクによる送気音が聴診できること。
- (14) 食道挿管等誤挿管防止の確認ができること。
- (15) シリンジでエアを注入 (1 5 c c) することにより、左右の肺がそれぞれ閉塞を行えること。
- (16) 食道用エア弁が交換式になっており破損時に交換ができること。
- (17) 眼球が装着されており、正常状態の瞳孔確認ができること。
- (18) 脚の関節があり、座位にて訓練が行えること。
- (19) 充電式専用電池を使用し 1 回の充電で 1 0 時間以上使用可能であること。
- (20) 気管が分岐しており、左右の肺構造になっていること。
- (21) 心電図に同期した脈拍が総頸動脈で確認できること。
- (22) 舌根沈下により、気道閉塞できること。
- (23) シリコンゴム製であり、生体に近い感触を有すること。
- (24) 故障等に対し、迅速な対応ができること。
- (25) 上記の条件を満たしており、現在所有する (セーブマン) と同等以上の機能を有している製品についても可とする。